

高砂西部病院 初期研修プログラム

〔地域医療研修プログラム(産婦人科・小児科)〕

【研修目標】

<一般目標>

医療・福祉資源に制約のある地域特性を理解し、救急医療、初期治療ができ、地域での保健活動や健康増進の行える臨床医として成長するために、日本の医療における地域医療がどのようなものかを知り、単に「医学」という学問だけでなく「保健医療」という社会的側面を考慮し、特定の診療科にとらわれない総合診療を主体とした自立診療を経験する。産婦人科については、生命倫理の多くの問題を包括する産婦人科学を正しく認識し、それを応用・実践していく態度を身につける。小児科については、小児でよく見られる救急の対処ができるようになること。小児疾患の診断・治療に必要な基本的な検査・処置ができるようになること。新生児の診察に慣れること。

<個別行動目標>

- ① 地域の中小病院およびその附属診療所や施設が健康増進、健康維持に果たす機能と役割を述べることができる。
- ② 地域特性（高齢化や限られた医療・福祉資源や医療体制の問題）が、患者の罹患する疾患、受療行動、診療経過などにどのように影響するかを述べるができる。
- ③ 特定の診療科にとらわれない総合診療と全人的医療を行うに当たり、チーム医療や他職種との連携の重要性を認識した診療をする。
- ④ 地域において、患者の問題解決に必要な医療・福祉資源を挙げ、その地域または都市部の各機関に相談・協力ができる。
- ⑤ 診療情報提供書や介護保険のための主治医意見書、入院から退院までのソーシャルワークの計画やリハビリテーションのオーダーの補助ができる。
- ⑥ 疾患のみならず、生活者である患者に目を向け、患者とその家族の要望や意向、地域の実情を十分に尊重しつつ問題解決する。
- ⑦ 地域でのトランスポートーションの方法について判断できる。
- ⑧ 問題解決に必要な情報を、適切なリソース(教科書、二次資料、文献検索)を用いて入手、利用することができる。

【研修方略】

<研修の方法>

高砂西部病院の地域医療分野の研修の場として、2年次の2ヶ月間勤務し、指導医と共に外来診療、入院診療などの実務研修を行う。院内の他職種とのカンファレンスなどにも参加し、予防医学活動に同行する。救急搬送も体験する。

○ 研修開始前

- ① 研修目標や評価方法について、研修医の所属する研修担当責任者と事前に打ち合わせをする。

○ 研修開始時

- ① 研修開始時に研修医と共に研修のゴールを確認し、研修医の学びたいこと、指導医が研修医に期待することを明確にしておく。
- ② 研修する病院の業務および地域特性についてオリエンテーションする。

○ 研修期間

- ① 特定の診療科に偏らず、一般的な疾患を有し、さまざまな背景をもつ患者を診察する機会を

もつ。

- ② 新入院のカンファレンス、回診に参加する。
- ③ 入院患者については、指導医または上級医と共に毎日回診する。
- ④ 他職種との合同カンファレンスにも参加する。
- ⑤ 訪問診療・往診については研修医だけの単独診療にならないように注意し、指導医の了解のもとで行う。
- ⑥ 診療情報提供書、介護保険のための主治医意見書などの書類を指導医の言う内容の口述筆記などして作成する。
- ⑦ 入院から退院までのソーシャルワークの計画やリハビリテーションのオーダーの補助なども指導医の了解のもとで行う。
- ⑧ 外来診療や時間外の外来および当直業務は、指導医の監視下、もしくは、いつでも相談できる適切なオンコール体制で行う。
- ⑨ 機会があれば健康教室への参加、なければ院内職員向けのレクチャーなどを行う。
- ⑩ 機会があれば、予防医療活動や検診業務に指導医と共に同行し、参加する。
- ⑪ 救急患者への対応特に、高次医療機関への紹介や搬送については、指導医と紹介や搬送の適応、その際の業務内容を十分考えた上で参加をする。
- ⑫ 地域特有の疾患は適宜経験する機会をもつ。
- ⑬ 産科では正常分娩、産褥管理、分娩介助、会陰切開縫合等実習する。
- ⑭ 婦人科では、婦人科的診察法、術前術後管理、会陰裂傷縫合、腰椎、硬膜外麻酔等の手技を経験する。
- ⑮ 正常小児の精神発達、運動発達を具体的に学び、母子・家族関係等についても理解する。
- ⑯ 発達段階における各疾患の内容、症候の変化について学ぶ。
- ⑰ 患児や保護者とのコミュニケーションの方法を理解、習得して良好な信頼関係を構築する。
- ⑱ 保護者からの問診や患児の観察から、適切かつ十分な情報を取得して円滑な診療を行う。
- ⑲ 小児期に多いウイルス感染症、細菌感染症の年齢的特徴を知り、その診断、治療、管理を学ぶとともに、予防接種について理解する。

指導責任者

新保 雅也(院長・研修実施責任者)

大森 吉弘(名誉院長)

名和 清彦(総長・産婦人科)

工藤 直子(部長・小児科)

スケジュール（予定表）の一例

1ヶ月目

	月	火	水	木	金	土
8:45～	医局 カンファレンス	医局 カンファレンス	医局 ^o カンファレンス	医局 カンファレンス	医局 カンファレンス	医局 カンファレンス
9:00～	小児科外来	小児科外来 病棟 レクチャー	病棟	病棟	病棟 レクチャー	外来 病棟
13:00～	小児科病棟	内視鏡レ クチャー		1ヶ月 検診		
14:00～	手術 (PEG)	往診 病棟	外来 予防摂取 病棟	往診 病棟	外来 病棟	
16:00～				医局会 症例検討会	救急外来 回診・当直	

2ヶ月目

	月	火	水	木	金	土
8:45～	医局 カンファレンス	医局 カンファレンス	医局 ^o カンファレンス	医局 カンファレンス	医局 カンファレンス	医局 カンファレンス
9:00～	エコー・レ クチャー	産婦人科 外来	産婦人科 外来 病棟	外来 病棟	外来 病棟 レクチャー	外来 病棟
13:00～		内視鏡レ クチャー	健診・ ドック	1ヶ月 検診		
14:00～	手術 (分娩)	往診 病棟	外来 予防摂取 病棟	往診 病棟	外来 病棟	
16:00～				医局会 症例検討会	救急外来・ 当直	

※ 手術に関してはPEG造設または交換などあれば予定に組み込む。

※ 研修期間内に当直を1回以上経験する。

※ 研修期間内に分娩を経験する。